

【報告事項：大島商船高等専門学校】

新造練習船大島丸の建造について

新造練習船大島丸においては、令和4年3月1日に、三菱造船(株)下関工場にて、起工式が挙行されました。本船は、建造から約30年が経過し、老朽化した現行の練習船大島丸に代わる練習船として建造されるものです。

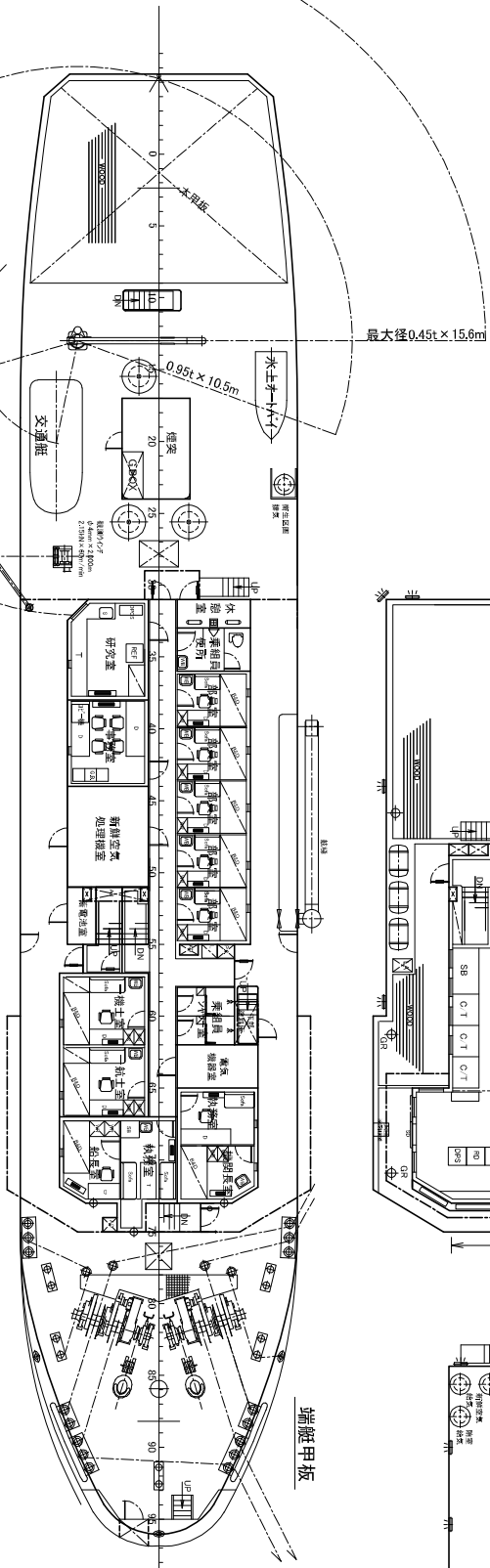
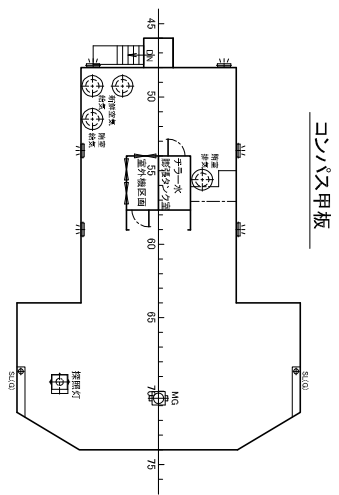
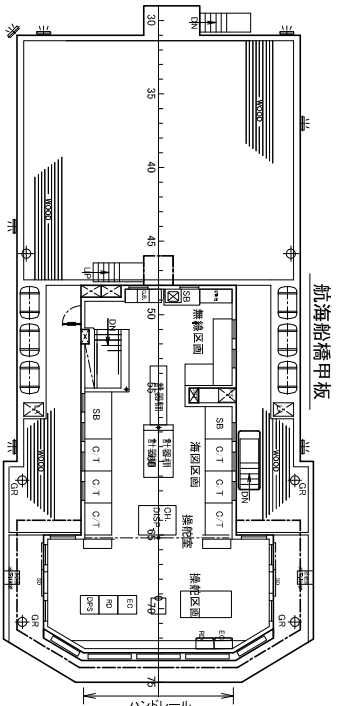
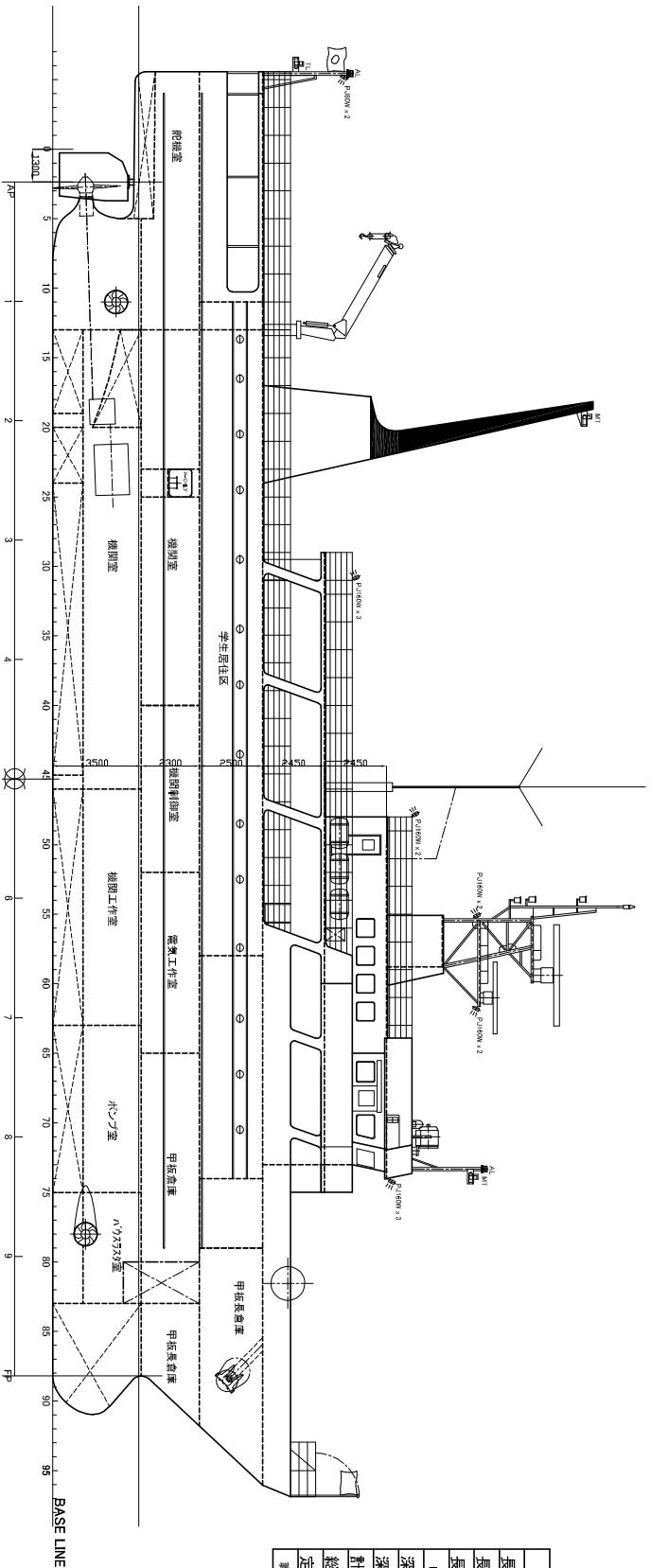
本船は、船員養成のための海技士教育設備、海洋調査・研究設備、災害発生時の支援船としての設備を有しており、教育研究だけでなく、様々な地域貢献に役立てることができる設計となっています。

今後、令和4年10月13日に進水式が行われ、令和5年3月中旬に本校に引渡し・就航となる予定です。



新造練習船大島丸外観図

主要項目	
長さ(全長)	約 56.34 m
長さ(登録)	約 49.19 m
長さ(垂線間)	約 47.20 m
幅(型)	約 10.80 m
深さ(型) 船樓甲板	約 5.80 m
深さ(型) 上甲板	約 3.50 m
計画喫水(型)	約 3.40 m
総トン数	約 370 t
定員	合計 60名
	職員4名、船員5名、教員3名、学生48名



練習船「大島丸」代船		
一般配置図		
独立行政法人国立高等専門学校機構 大島商船高等専門学校	製図 DATE	令和3年5月

